

議員全員協議会会議録

(令和4年11月14日)

愛南町議会

愛南町議会議員全員協議会会議録

本日の会議 令和4年11月14日(月)
招集場所 大会議室

出席議員

議長	原田達也	副議長	佐々木史仁
議員	池田栄次	議員	吉田茂生
議員	少林法子	議員	石川秀夫
議員	金繁典子	議員	鷹野正志
議員	中野光博	議員	山下正敏
議員	那須芳人	議員	吉村直城

欠席議員

議員	尾崎恵一	議員	嘉喜山茂
----	------	----	------

職務のため出席した者

議会事務局長	本多幸雄	局長補佐	小松一恵
--------	------	------	------

説明のため出席した者

なし

本日の議員全員協議会に付した案件

【議会協議】

- 1 議会報告会意見について
- 2 議会報告会のアンケート集計について
- 3 議員視察研修について
- 4 令和5年度当初予算提案について
- 5 その他

開会 10時00分

閉会 11時49分

○佐々木副議長 皆さん、おはようございます。

ただいまより、令和4年度第16回議員全員協議会を開催いたします。

まず初めに、議長挨拶、お願いいたします。

○原田議長 おはようございます。本日、議員全員協議会を御案内をいたしましたところ、出席をいただきありがとうございます。

なお、本日は尾崎議員と嘉喜山議員から欠席の連絡が入っておりますので、許可をしております。

今日は、お手元の資料にありますように、4点ほど協議をしていただきたいと思いますと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

それでは、早速協議に入ります。

まず、1番目、議会報告会の意見についてですが、これは議会運営委員会のほうで協議をしていくということ、この間、決定しておりますので、山下委員長より経過を報告をしていただきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

山下議員。

○山下議員 それでは、議会運営委員会で引き受けました意見の取扱いについては、協議の結果、議会に対する意見については全て、その他の意見は抽出して行うことに決まり、その抽出については正副委員長に一任となりました。

その結果ですが、その他の意見について全部としましたこと、全てその他の意見についても全部としましたことを報告いたします。

以上です。

○原田議長 ただいま委員長より報告がございました。

議会資料1を見てもらえますかね。これは1から31番までが議会に対するものです。そして32から57番、最後までがその他ということで、これ件数も多いので議員各個人の意見を書面のほうで回答していただきたいと思いますのですが、それで構いませんか。それぞれの皆さんが意見を出して、書面のほうで出していただきたいと思います。

それでいいですか。それを基に、議会としての回答を協議をしたいと思っております。そのように決定でよろしいですかね。

少林議員。

○少林議員 それでいいと思うんですが、大体のタイムスケジュールを……言ってください。

○原田議長 本多事務局長。

○本多事務局長 事務局から説明させていただきます。

11月18日、今週の金曜日までにはお願いできたらと思っております。事務局のほうまで紙等で提出をお願いしたいと思っております。

以上です。

○原田議長 ほかに何か御意見ございませんか。分かりましたかね、皆さん。自分の個人の意見を、もし意見がなかったら空欄でもいいんですが。

少林議員。

○少林議員 その後の全協は。18日までに出すと、その後、全部で何か協議はいつですか。

○原田議長 それもします、また。

じゃ、11月18日までに回答をよろしくお願いいたします。正午ですかね。

吉村議員。

○吉村議員 確認ですけど、11月のいつですか。

○原田議長 18です。

○吉村議員 までに回答。

○原田議長 はい。

- 吉村議員 その後、まとめるということですね。
- 原田議長 そうです。皆さんの意見を出してもろて、はい。
- 吉村議員 もう一点。この間の全協のときに言ったんだけど、80何分……。そしてこの57分……。
- 原田議長 山下議員。
- 山下議員 土山先生に対する意見については、これはもう議会のことではないので、省こうということで、だから議会に対することと、その他に対する意見についてで議運で決めました。以上です。
- 原田議長 いいですかね。土山先生のは省いたということで。ほかに何かございませんか。本多事務局長。
- 本多事務局長 済みません、提出方法等について、再度確認をさせていただきます。紙資料については、この後、会議が終わった後にお配りするので、それに書いて提出していただいても結構ですし、データもありますので、データでいただきたいという方については、また別途連絡ください。私どものほうからデータを送信するようにいたします。そして提出の決算ですけれども、11月の18日の金曜日の正午までをお願いしたいと思っております。以上です。
- 原田議長 金繁議員。
- 金繁議員 確認なんですけど、今のスケジュールは、個人の議員宛てに来た質問に対してのスケジュールですよ。じゃなくてですか。
- 原田議長 個人の議員。
- 金繁議員 だから、少林議員への質問ですとかいうて入っている。
- 原田議長 いや、全部です。
- 金繁議員 全部に関して。
- 原田議長 ええ、全部です。全部に回答を皆さんでそれぞれ考えてもらいたいと。
- 金繁議員 ああ、それぞれ。
- 原田議長 もし回答できないところがあれば、空欄でもいい、書かなくてもいいと。金繁議員。
- 金繁議員 そしたら、これ、57個残ったわけなんですけど、57個全部について、それぞれの議員が出すと。
- 原田議長 そうです。
- 金繁議員 で、出した後、話合いとか取りまとめというのはどういうふうに。
- 原田議長 また、協議しますよ。
- 金繁議員 全協を開くんですか。
- 原田議長 はい。
- 金繁議員 それは12月議会の前。
- 原田議長 そうなりますね。本多事務局長。
- 本多事務局長 全員協議会を開いて協議する必要があるかと思うんですけれども、タイミング的には、次は11月22が全員協議会を開きますので、そのタイミングで開けるかなと思っております。以上です。
- 原田議長 22に全協、12月定例に対する執行部からの報告もありますので、そのときにやりたいと思います。

金繁議員。

○金繁議員 確認とお願いなんですけど、その場合、全員が57個を書くとなると、それはそれ自体本当にいいことだと思うんですけど、膨大な資料になると思います。今日も全協の資料、朝に回ってきたんですけど、これ57個やけんぱつと見れますけど、57個を14人が書いたら何百という数になるので、できれば、18日までに個人の意見を出すということなんで、取りまとめて、できればもう20日以前には出して、見れる状態にしていきたいんですけど。その点はどうか。何曜日になるんですかね。

○原田議長 それは個人個人の意見を見れるようにということですか。

(発言する者あり)

○原田議長 本多事務局長。

○本多事務局長 事前になるべく早く皆さんのほうに周知はしたいんですけども、どうしても、そうすると、締切りを前倒しにさせていただく必要がありますけど、よろしいでしょうか。

○原田議長 金繁議員。

○金繁議員 一人一人がデータで出すということですよ。エクセルか何かに出すと思うんですけど。この57の項目をエクセルでメールで送っていただいて、その中に打ち込んで、紙で出す人ももちろんいいんですけど、事務局に出した時点で、それを共有してもらえないですかね。そしたら、18日、19日、18日にはもうみんなに見れる状態になるんですけど。正午に出して、午後には皆さんにぱつと、もうそのままの状態を出せばいいと思うんですけど。

○本多事務局長 では、データでいただける方は、でき次第掲示することとしまして、紙を出していただく方についても、出てき次第、全てPDFに直して掲示するというところでよろしいでしょうか。

○原田議長 全議員にそれを提示する必要がありますかね、それ。

金繁議員。

○金繁議員 どっちみち集約して形を整えて、今の予定ですと22日に出すということですよ。それをみんなに共有できるように、一人一人の分をするということで。同じことですよ。同じことなんです。18日のやっぱり午後にすぐにそれやったら出せるので。

○原田議長 22日に皆さんで一応見てもらって、それからまた。

金繁議員。

○金繁議員 それやと、もう12月議会前に取りまとめるということが難しくなってくるので、18日の午後に共有して、みんなで見れたら、それでいいじゃないですか。何が問題ですか、逆に。事務局は事務的にそれ時間的にできると言っているんですよ。議長の問題だという点がもしあればお願いします。

○原田議長 どんな、できる。

中野議員。

○鷹野議員 エクセルで送るにしても、それぞれ字体が大きい小さいあるやないですか。その辺ぱつと同じあれに。

○金繁議員 できます。一括変換で。

○鷹野議員 できるん。

○金繁議員 数秒です。

○鷹野議員 ああ、できるんか。

○原田議長 事務処理、どんなですか。

本多事務局長。

○本多事務局長 ちょっと事務局の都合として、さっき言ったように、出てき次第、PDFなりデータなりで掲示することは可能です。ただちょっと事務局の都合を言って申し訳ないんですけど、20日の選挙を控えて、18日の日が実を言うと選挙の投票所の準備等がありますので、全て

のデータを掲示する最終的な期限を19日の土曜日にさせていただきたいと思うんですけど、よろしいでしょうか。

○原田議長 石川議員。

○石川議員 18日の正午なんで、それであれば、1日前倒して、17に切ったらどうですか。そしたら事務局のほうにも無理は行かず、すんなり17、5時までということにしたら、私はいいんじゃないかなと。半日、使われる方もいらっしゃるかもしれませんが、57項目をやると思ったら、今日からやらないと、多分できないようなボリュームになろうかと思うんですよ、各議員がですね。それであれば、もう17の5時までに切ってやったほうが、事務局にも負担がかからないし、できる項目、できない項目、それぞれ議員が判断して記入していただいて出していただいたらいいんじゃないかなと思いますけど。

○原田議長 今、石川議員からそういう提案がありました、前の日の17ですかね。別に構いませんか。今日入れて3日、4日か。5時でいいかな。17日の5時、いいですかね。余り長い回答はいいんで、簡潔に回答をしてください、できたら。17日の5時までです。よろしくお願いします。

あとこの件について、何かありませんかね。

本多事務局長。

○本多事務局長 この掲示の件について、最終的に確認させていただきます。

掲示する際、今まででしたら、そのたびに通知をさせていただいていたんですけども、今回は随時掲示させていただきますので、通知はいたしませんので、各自で内容を確認してください。

以上です。

○原田議長 そしたら、ほかにないようですので、続いて2番の議会報告会のアンケートの集計についてを議題といたします。

これについても、議会運営委員会のほうで協議をさせていただいておりますので、山下委員長より報告をお願いいたします。

山下議員。

○山下議員 それでは、議会運営委員会で引き受けました追加意見の取扱いについては、協議の結果、アンケートの集計には含めず、別に掲載しますが、アンケート同様に公表することにいたしましたので報告といたします。

以上です。

○原田議長 ただいま委員長より報告がありましたが、これについて御意見ございませんか。よろしいですか。

(「はい」と言う者あり)

○原田議長 じゃ、アンケート集計は当日回収分のみ集計結果として、その後の3件は別に集計し、ホームページにて公表することにしたと思います。

続いて、3番、議員視察研修について。

この北海道研修なんですけど、皆さんから御意見を頂戴したいんですが、この場で皆さんがそれぞれ行かれた方、それぞれ意見を述べるのがいいのか、それとも文書で皆さんの意見を提出してもらった方がいいのか、ちょっとどちらかにしたいと思うんですが、皆さんの御意見を伺いたと思います。

少林議員。

○少林議員 あれだけのところに行っただけですから、きちんとそれぞれの議員が文書で報告をして、それをまとめて議長さんがいろいろなことを報告を書かれるというのが筋だと思います。私たちが学んだ福島の福島町議会もそうしていると言われました。

○原田議長 今、少林議員から文書でという意見があったんですが、ほかに御意見ございませんか。

金繁議員。

○金繁議員 私は、前から書いたほうが良いと言っていた者なので、改めて言いますが、議会報告会の中にも、復命書を書いてくださいという意見がありました。私のほうで調べたところ、この議会でも各自書いていらっしゃるようです。松前町は書式があるんですけども、内子町はもう書式なく、一言でも自分の紙でも良いので書くようにということで、皆さん、それぞれの思いを書いていらっしゃるようです。

だからどこでもやっていることですし、もうやったらどうかと思います。

○原田議長 ほかにありませんかね。

ないようですが、鷹野議員。

○鷹野議員 書くのは書くであれなんですけど、もしそれを皆さんが提出したら、もう再度また全協で御意見言う、取りまとめ等せないけんと思うんですよ。今まで委員会の研修云々でもレポート等、当議会はしたことがなくて、もう発言だけで委員長なり議長なりが取りまとめるという方向でやってきました。委員会でのレポート出すんやったら、この間のパワハラ委員会やて、レポートを出さんといけないということにもなります。その辺、この全協で、今回の北海道を限定にするんだったら、まだ分かるけど、その辺、委員会なり、今回は全員の議員の2年に1回の研修ということなんで、その辺も含めてしっかりとこの辺のあれを申合せしとかないと、今後全てに、常任委員会はまた委員会の中で決めりゃええですけど、こういった全員で行く研修に関しては、きちんと取りまとめしとかないと、取りまとめいうか申合せしとかんと、今後全て、本当にパワハラ研修とかも何もかもレポートを出さないけんということになるので、その辺、ちょっと。

○原田議長 今の鷹野議員の意見なんですけど、ちょっと待って、一応今回は今回の研修に限ってということで、ちょっと皆さんに意見をもらいたいんですよ。結局、今までは皆さんから意見をいただいて、それを私とか事務局でまとめて報告書を作りよったんですけど、今回も、いうたら皆さんが言う意見を、ただ今度は文書で出してもらおうということにしたいと思うんですよ。ですから、また皆さんの意見を持ち寄って、みんなが協議するというのはなくて、皆さんから出してもろた意見を私と事務局でまとめて、それを皆さんに報告書として見ていただくと、そういう形を取りたいんですけど。

ただ、今回は皆さんの意見をいただくという代わりに、口頭でいただく代わりに文書で頂くということ、その違いだけです。

鷹野議員。

○鷹野議員 そしたらもう、議会としてのまとめなんで、もう無記名でええということですか。

○原田議長 そうですね、はい。

金繁議員。

○金繁議員 内子町も松前町も、一応議員の名前を出して、ちゃんと報告書を出しています。委員会でももちろんそれをやっているんですけど、視察に行ったとき。今回、全員でやったので、議長がまとめられることになると思うんですけど、そのまとめるときに、個人名を、議員名を出している議会もあれば、出していない議会もあります。それはもう議長の御判断でいいと思います。

今後、委員会で視察に行ったときとか研修を受けたときもするかということなんですけど、ほかの議会はしております。やっぱりお金を公金使って議員が習得したものはこういうことを習得しました、愛南町議会ではこれはできる、できんという、やっぱりそれぞれの意見は、やっぱりお金を使った成果として出すべきやと思いますけど、それは今後ほかの議会の調査もされて決めたらいいのかなと思います。

もう一点、先ほど鷹野議員がおっしゃっていた、協議したほうが良いとおっしゃる点、報告書に関しては、原田議長がおっしゃるとおりいいと思います。ただ、せっかく学んできたこと

を、じゃ、愛南町議会でもすぐにできることがあるんじゃないかと。例えば全協とか委員会も放送してほしいとか、答弁書を事前にもらうとか、すぐにできることを愛南町議会でも取り入れるかどうかというのは、一回話す、協議するべきやと思います。

協議したい事項は、それぞれ議員によって違うと思うので、それをちょっとここで出し合ったらいいんじゃないかなと思いました。

○原田議長 今回、視察研修に関しては、今、私が言ったように、ここで口頭で言う分を書面で出させていただきたいと思います。それでよろしいですかね。

石川議員。

○石川議員 文書で出すのはいいんですが、無記名ということで、今回3名の方が行かれてないということですので、私はこの口頭場で、やっぱりある程度共有しておいたほうがいいんじゃないかなと。3名行けなかった方々のためにも、今までどおりの口頭でのやり取りを、この全協の中でやったほうが、私は行かれなかった方にも、ああ、こういうことがあった、こういう視察やったんかということが理解はできるんじゃないかなというふうには思いますが。

○原田議長 金繁議員。

○金繁議員 石川議員のおっしゃること、私も賛成です。それは報告書とは別に、先ほど申したように協議をするという意味で、全体に学んできたことを共有でき、これをやる、やらないという、やっぱり検討はせんといけんと思うんですよ。なのでそういう機会を設けてほしいと思います。報告書は報告書で文書で出すというのは、もうそれでいいと思います。

○原田議長 報告書で大体分かる、池田議員。

○池田議員 ちょっとそれは、文書で書面で報告出した後、協議するということですかね。そうせんと、先したら、今するんやったら、何の書面の意味も何もないんで。

○原田議長 さしむき報告書を作成せんといけんので、文書で簡潔にお願いします。そんな長い文書は要らんので、感想を簡潔にお願いしたいと思います。

石川議員。

○石川議員 その簡潔にというのは、何行のことを簡潔と言うのか。いや、原稿用紙10枚でも簡潔ですということもあるんですから。やっぱり簡潔いうても、それは個人差が出てくるような気がするんですが。事務局としては、大体どれぐらのボリュームをイメージしていますか。事務局長。

○原田議長 本多事務局長。

○本多事務局長 この場で皆さんが責任を持って発言できる、する内容程度でいいんじゃないかなとっております。

以上です。

○原田議長 いつも皆さんが発言する程度の文でいいと思います。そんな長い文は要らないと思いますので。いいですかね、石川議員。それは皆さんの個人の判断で……。

そうしたら、これ期限を。

事務局長。

○本多事務局長 これについての期限なんですけれども、大変申し訳ないんですが、同じく11月18日、今週の金曜日の正午まででお願いしたいと思っております。

以上です。

○原田議長 同じくやない、さっき17になっている。

○本多事務局長 はい、今回は18日の正午までということにさせていただきたいと思っております。18です。

○原田議長 これは18日で間に合うそうですので、いいですかね、18日まで。北海道行かれた方、提出をお願いします。

金繁議員。

○金繁議員 確認なんですけど、じゃ、それ出した後、また後日の協議なんですけど、それは12月議会の前になりますか。

○原田議長 ですね。

じゃ、そういうことで、よろしくをお願いします。

続いて、4番の令和5年度当初予算提案についてを議題といたしますが、今回、皆さんからそれぞれ提案していただいたんですが、思ったよりも結構ありまして、18件ありました。今までだったら、ほんの数件だったのに、今回、皆さん、熱心に提出をしていただいて、18件を出していただいたんですが。

この中で、やはりこれはそれぞれ皆さん個人としての意見ではございますが、一応議会としての提案として提出をしたいと思っておりますので、ちょっとこれ皆さん、中身を見ていただいて、それぞれの提案、検討をしていただきたいと思います。これ、今日、タブレットに載ったとこです。皆さん、余り目を通されてない方もおるんじゃないかと思っておりますので、ここでちょっと休憩取りまして、一応この提案について、18件の提案について、目を通していただいたらと思います。

暫時休憩します。

14時40分から再開しますので、目を通してください。

(休憩)

○原田議長 休憩前に引き続き会議を開きます。

皆さん、これ大体目を通していただけましたかね。ちょっとこれで議会として、ちょっと提案するのはふさわしくないというのがあれば、ちょっと皆さん、意見を出していただきたいんですが。どうですか、もう。

少林議員。

○少林議員 2番なんですけれど、これ、私たちのところのものです。わざわざ更新せんといけんのやろうか、これ更新するにしても、結構お金が要るようになると思うんですが、金額書いてませんが。机、椅子、これ今必要なんじゃないかな。

○原田議長 どうですかね、この我々に直接関係しとるんですが、これは。今までのあの状態ではどうもふさわしくないという意見なんですよ、これは。私もよく分かりませんが、これは。どうですか。

少林議員。

○少林議員 それよりも、せっかく当初予算なら、町民のために役立つところの予算のほうにすべきじゃないでしょうか。2番、それほど今、急なことなのかなと思います。

○原田議長 ほかにありませんか、この件については。

金繁議員。

○金繁議員 私もこの議員控室の机、椅子等、会議卓の更新って、かなりお金かかってくると思うんですね。何百万かかるか分かりませんが。もう提案者の効率が悪くて仕事ができないということを書かれているので、具体的にどういうことなのか、提案者の御意見、いただけたらと思います。

○原田議長 今まではこういう意見が出たら、提案者から意見をもらいよったんですよ。

本多事務局長。

○本多事務局長 私が聞いている範囲内でお答えさせていただきます。

追加資料がありますので、追加資料ですね、この資料の最後から3ページ目を開いてください。予算提案に、議員控室の机、椅子、会議卓の更新ということで、配置図等も掲載させていただいております。

提案者のお考えによりますと、議員の作業環境も重要であるので、机に座って作業ができやすいように、今の会議卓をのけて、そこにテーブルを2つ置いて、椅子も14人分用意させて

いただいて、どこに座ってもいいので、そこでパソコン作業とか、そういった事務作業ができるような形を整えてほしいという御意見であったと思っております。

以上です。

○原田議長 ちょっと今日、はっきり言って提案者が欠席なんですよ。で、本人から意見を聞くわけにはいかないんで。

那須議員。

○那須議員 何の作業をするんか分からんけども、余り作業したの見たこともないし、この庁舎を建てるときに、議会議員控室とかはお金かけんよというところで、あっちこっち拾ってきたようなので使っとるわけですよ。もうそれなのに、またお金をかけてってというのは、これは理解できん、私は。

○原田議長 そういった意見が出ましたが。

鷹野議員。

○鷹野議員 今、2番が出とるけど、これに時間かけよったら、何時間かかってもあれやけん、もう1から順番にしゃっ行ったらどうですか、順番に。イエス、ノーで。

○原田議長 そうしますか。

じゃ、順番に妥当かどうかいうのをちょっと皆さんにお聞きします。

最初の1番の開かれた議会の推進ですね。これ、カメラ等の放映機器の整備を行えというふうにあります、どうでしょうか。

本人の意見がちょっと聞けないんでね、何とも。

鷹野議員。

○鷹野議員 今そこまで必要ないと思います。ほんで、町長の声が聞こえにくいとか、そういう意見は聞くんで、ピンマイクをちょっと、そういう解消ぐらいは何かの機会に言うべきことかなというふうには思いますけど。全体の機材まで、そこまで必要はないと思います。

○原田議長 金繁議員。

○金繁議員 私も鷹野議員に賛成です。カメラなどについては、例えば小金井市って大きなまちですけど、ウェブカムって言って、電気屋さんで5,000円ぐらいで売りよるやつで済ませとるんですよ。それでユーチューブにどんどん載せて、お金使わずに、うちみたいにケーブルテレビ60万、年間払うようなこともしてません。

なので、今これは優先順位ではないと思います。それはもちろんいいもの見せてあげたいですけど、もう十分だと思います。

○原田議長 分かりました。そういう意見を伝えて、了解をもらいたいと思います。

2番どうですかね、2番も同じでいいですか。

(「はい」と言う者あり)

○原田議長 次に、3番のごみ出し困難者の家庭、ごみ収集事案ということです。どうでしょうか、これは。

那須議員。

○那須議員 これは一般質問か予算の中で発言してもらって、その中で答えて、向こう、どう考えがというのを……的にやってもらったらいかがですか。

○原田議長 ほかに御意見ございませんか。

(発言する者あり)

○原田議長 じゃ、そういった意見で、一般質問等でやっていただいたらということでもいいですね。はい、分かりました。

続いて4番の移住促進事業ですね。

金繁議員。

○金繁議員 ……なんですけど、4、5、6は……ですよ。……あるんですけど、この方法

を……ところもあるんですけど、もうちょっと変えたほうがいいのではないかと……、……の事業を移住促進……なんですけど、これを例えば委員会で……。

○原田議長 これ、4番、5番、6番ですかね。4、5、6を含めて。

ほかに御意見ございませんか。

少林議員、何か説明。補足説明ありますか、少林議員。

○少林議員 いっぱい質問したし、これまでもたくさんの方がやっぱり移住のこととか質問されてきました。でも、今、金繁議員が言うたのは、委員会として12月議会に質問の形でしたほうが、するということですかね。

○原田議長 いやいや、はい、金繁議員。

○金繁議員 12月議会はもう間に合わないし、そもそも委員会で検討する事項として、9月議会で認められていないので、検討すること自体不可能です。なので、やるのであれば、今度の12月議会に常任委員会でやることを付託しますという許可を得て、1月以降にやることになると思います。

額は大きいんですけど、補正予算を組むということは可能なので、当初予算に入れないと絶対できないということはないですよ。なので提案しました。

○原田議長 どうですか、少林議員、提案者でしょう。

○少林議員 そうです。1年遅れる、遅れてしまうかなと思うたけど、補正もきくということならば、そちらのほうにしていっても。

○原田議長 金繁議員。

○金繁議員 先輩議員の方々、間違っていたら御指摘ください。

今ちょうど、企画財政課のほうワークショップをして、町民の方等のワークショップのテーマとして、この空き家対策やれています。その結論がまだ出ないので、いつ出るか分からないですけど、恐らく12月とかになるんじゃないかと思います。それまでに出したいという気持ちがあれば、また別なんですけど。ほかの方の御意見も是非聞いてみてください。

○原田議長 どうですかね、これ、この件。

少林議員。

○少林議員 私もその移住ワークショップ、今まで2回見てきて、今日もあるんですけど、やっぱり移住してきた方々や、そのメンバーたちの意見が入っています。恐らく感触としては、企画財政課のほうも、できたらお金増やしたいなというふうに、町全体に要望したいような感じにも思えるので、ここで出しておいたら、両方がうまくいくかなと思って出させていただきました。

○原田議長 吉村議員。

○吉村議員 ……（聴取不能）

○原田議長 これは。

（発言する者あり）

○原田議長 ちょっと吉村議員、挙手。

吉村議員。

○吉村議員 ……（聴取不能）……出す部分と、……というわけでもないけども、ちょっとずれちよるやないかと思うんやけど。どうですか。これしよったら、限りないと思う。

○原田議長 吉田議員。

○吉田議員 私も今、吉村さん言われたとおり、細かい内容をずっとこれ見てますと、ちょっと議会としてどうのこうのということではないんじゃないかなと。逆に我々は、行政に対してチェックする機能を持たなきゃまずいもんですから、そこに加担するというのは、ちょっといかなものかなというふうに私は思います。

○原田議長 そういった意見があります。どうでしょうか。

少林議員、よろしいですか、それで。

○少林議員 ああ、まあ。

○原田議長 もうこれは執行部が当然考えていることなんで。

○少林議員 考えているかな。

金繁議員と委員会で検討していただいたら、移住がどういうふうになっていくか、空き家のこととかもいろいろ。

○原田議長 それは常任委員会でこれをテーマにして、また。それでよろしいですか、委員会で検討すると。

(「はい」と言う者あり)

○原田議長 続いて、7番の小中学校振興事業、これどうなんですかね。これも少林議員だったですかね。

少林議員。

○少林議員 はい。自分も学校におりましたけど、以前、金繁議員も特色ある学校というのを言ったと思うんですけど、学校には結構自由になるお金がありません、はい。バス1台出すだけでもお金要るので、もう少し、各校10万でいいので出していただいたらと思います。

○原田議長 どうですか。

鷹野議員。

○鷹野議員 これもですね、各学校によって、やっぱり校長の考える学校づくり云々というのがあるんで、その要望で教育委員会が判断するというような、そういう方向になっていると思うんですよ。だからもちろんお金かけてやってくれというのもありかもしれませんが、そこまで議会として出すような問題ではないと思います。

○原田議長 ほかに御意見。

吉村議員。

○吉村議員 …… (聴取不能)

○原田議長 いいですか、それで。

ほかに。

それでいいですか。

(「はい」と言う者あり)

○原田議長 そういうことでよろしくお願いします。

続いて、8番の有機農法の先進地視察事業。

(発言する者あり)

○原田議長 これも、素案見よったら、全然これ、提出するのが、これ本当にもう限られてしまうんでね。

金繁議員。

○金繁議員 やっぱりこれ、一つ一つ見て、今、議会として提出するのにどうかというのを議論する上で、やっぱりこの中で議論、今までしてないと、今すぐこれを見て、あ、それいいね、悪いねって、皆さん出しにくいと思うんですよ。そもそも論になってしまうんですけど。なんで議会からの要望を出せるのはすごいいいんですけど、やっぱり事前にいろんな資料を基に、議員間で話し合っていないと、にわかに賛成、反対、できにくいですよ。

なので、有機農業については、少林議員、一般質問をされてましたけど、それを受けて委員会で検討しようとか、そういうことになっていけば、来年度に向けて充実した議論をして提案できるかと思うんですけど。そういう方向にしてはどうですかね。委員会で、検討する、しないは、もちろん委員会の皆さんの御自由ですけど、そういう話合いもちょっとここでしたらどうですかね。

○原田議長 これ、事務局長、締切りはいつまで、締切り。

本多事務局長。

○本多事務局長 これについては、流れとしましては、ここで決定していただいたものについて、執行部のほうにお渡しして、執行部のほうで回答するということになります。なので、もう今回、ここで今日決めていただいとかなないと、その回答が間に合わない、予算に反映できないということになろうかと思います。

以上です。

○原田議長 そういうことですので、今日この場でできたらどうするか、議会として提出するかどうかを決定したいんですが。

金繁議員。

○金繁議員 では、提案なんですけど、今、簡単にもう、だから必要なですっていうピッチトークを、30秒、1分、少林さんにしてもらったらどうですかね。

○原田議長 それぞれ皆提出者は、これが絶対必要と思うので出して来とるんで。

(発言する者あり)

○原田議長 理由。

(発言する者あり)

○原田議長 吉村議員、ちょっと……。

吉村議員。

○吉村議員 さっきもちょっと触れたんですけども、最初、過去は4件か5件かいう話もあったんですけども、こういうあれは、やり方というのは、そもそも全ておかしいとしか言いようがない、現実。こんなやり方しよったら、何ぼでも出して、無限大に出せるし。これは我々のほうがもっと勉強して、要望に対して、例えば緊急性があるんで、これは早急に予算あれして出してもらうべきかとかいうふうなあれで議論を深めてやるんならあれやけども、何か後にも続くけども、桁の違うような部分らが出て、ちょっとと思うんですが、どうですか。これも含めて。

○原田議長 今、吉村議員から御意見がありました。どうでしょうかね、皆さん。

これ、期限がないんで、今日ちょっと決定したいと思うんですよ。ですから、どうしてもこれは必要だなというものがあれば、ちょっと皆さん、これ。

石川議員。

○石川議員 なかなか私のとこまで行き着かんのですが、私はこれ一般質問で、私質問していった内容を含めて、私の部分は9番からなんですけど書かせていただいておりますけど。

今、町のほうが、執行部が多分防災の関係の、特に南海トラフの関係のグランドデザインを計画を作ろうということで動いていると思うんですよ、コンサルに頼んで。ただ、今、一時避難場所は確保できていますが、二次避難所、避難所ですよ、そこの部分の、いうたらテント張ったり、仮設テントを張ったり、仮設住宅を建てるような場所もない中で、近々にできることとこののを、金額はこれ、1桁違うような話をしますけど、一応、9番については、これはとにかく喫緊に、南海トラフの地震も7割から8割、向こう30年に向けて、9番を話している。9番も10番も11番も、基本的には考え方は一緒なんですけど、喫緊にやるべきことというのは、議会のほうから提案していただきたいなという思いがあって、私は書かせていただきました。

町のグランドデザインがどういう形になるのかっていうのが多分近々に出るんじゃないかなとは思いますが、やけどそれにしても今、愛南町が防災関係、南海トラフの関係について、何ら思い切った対策を取られてないということからすれば、何らかの計画は必要なんじゃないかなという思いで、私は書かせていただいております。

○原田議長 中野議員。

○中野議員 議長、8番が飛んだような、順番にやっていって。8番はもうええんですか。もう順

番して、8番に対する意見かと思ったら、そこから飛んでしもたんで、8番をまず、もう順番にやってください。

○原田議長 じゃ、8番の有機農法、どうでしょうかね、これ。どうしても。
少林議員。

○少林議員 私の何か書いている趣旨が、何かいろいろ違うみたいだけど、自分が質問してきたことで、もっと、今国がどんどん変わってきているのに、ここだけなかなか変わってきてないところで、それなら有機にも取り入れていこうという動きはあるので、そういうのを先にしてほしいと思って90万円のあれをつけたんですが、おかしいでしょうか。
一般質問、有機のことは質問はしましたけれど。もう一度。

○原田議長 吉村議員。

○吉村議員 ……今、たくさんのを……委員会、所管事務でやって、段階を踏んで、いきなり予算……、それは違うと……。

○少林議員 そこが分からないんですよ。

○原田議長 委員会でという意見がありますが。
(発言する者あり)

○原田議長 山下議員。

○山下議員 これはちょっと、この議会提案の期日がちょっと間違うとるわね。今やなくて、もっと8月とか9月ぐらいを最終にしたら、協議する時間があるんで、来年度から、もうちょっとこの。

(発言する者あり)

○山下議員 いやいや、もうちょっと。2か月ぐらいね。

○原田議長 今回はもうこれ期限がないんで仕方ないですけど、来年度からはそこあたり十分検討します。もっと早目にできたら。

で、その8番どうします。8番。もうこれは委員会でやりますか。もし。

吉田議員。

○吉田議員 私は今回、済みません、とてもじゃないけど、そういう計画できないんで全く出していないんですけども、本当に我々も勉強しなきゃなんないんで、ここは委員会ですべきもんで一般質問で僕は十分じゃないかなと思います。

○原田議長 という意見があります。
(発言する者あり)

○原田議長 皆さん、これもう切りがないんでね、これ言い出したら、本当に。やっぱり自分の意見は出してもらいたい意見がやはり強いんで。どうしても、これ、ちょっと皆さん、どうしてもこれ必要じゃないかというのだけ、ちょっとピックアップしてもらいたいんですよ。順番には行きよるんですけどね、これ。なかなか難しい問題で、これ皆さん。

じゃ、8番はあれですか。今回は見合わすと。いいですか、それで。少林議員、いいですかね。

9番、石川議員の提案みたいですけど。9番、どうですかね。

金繁議員。

○金繁議員 石川議員のおっしゃったように、二次避難所がかなり遠いという由良半島の住民の方の危機感を代弁されてて、私もこれは早急に、この内容でやるかどうかは別として、二次避難所の必要性は、緊急性は高いと思います。

ただ、先ほど石川議員もおっしゃられたように、町がランドデザインを、町全体の防災、避難をどうするかというのを考えている最中で、やっぱりそこに町全体としてのどうするかというのは、議会としてやっぱり独自にも調査して、提案していかなんといけんと思うんですね。これ由良半島だけ言っても、じゃ、西海、久良、城辺の海岸部をどうするのか。同じ状況なの

で、内海だけ出しても、行政のほうもこれだけ進めるというわけにはいかんと思うんで。グランドデザインに議会がしっかり関わっていけるようなことを考えませんか。また、これも委員会とかになるかと思うんですけど、どうでしょうか。

○原田議長 石川議員。

○石川議員 私はこれ一般質問もやりましたし、所管事務調査でも防災の関係で黒潮町にも行って、特にこの11番の由良半島の二次避難所っていうのは、私はこれ近々にですね、ほかのところはまだ近いんですけど、由良半島の二次避難場所っていうのは、僕は近々にこれ取り組まないといかんような話じゃないかなと。わざわざ旧僧都小学校、旧菊川小学校が今避難所になっただけですけど、余りにも遠隔で、なおかつ家串小学校の生徒が歩いて菊川小学校まで来ようとしたんですけど、結局たどり着けなかったというような話もありますし、私はこの南海トラフの地震に対する備えというのは、近々に執行部のほうにやっていただきたいなと。グランドデザインもあるんで、なかなかオープンになってこないんですが、このあたりはやっぱり要求するべきは要求しないといかんのじゃないかなと、私は思うんですが。

○原田議長 今、石川議員から、早急にこれはしていく問題じゃないかというふうに説明がありました。どうですかね。

那須議員。

○那須議員 これは緊急じゃなくて指定避難所としてですよ。指定避難所やね。指定避難所で由良半島には恐らくここか、あと1か所、2か所ぐらいしかないんですよ。指定避難所として使えるところが。要するにプレハブとかそういうのを造るということですよ。指定避難所というのは。緊急避難所じゃないですから。

(発言する者あり)

○那須議員 指定避難所でしょう。緊急避難所はあるんですよ、もうたくさんあるんですよ、由良半島は。

○原田議長 石川議員。

○石川議員 それは一時避難場所のことじゃないんですか、避難所じゃなくて。避難場所と、避難場所はいろんなところに幾らでもあるんですよ。ただ、避難所はないんですよ。だから由良半島に避難所というのはないんですよ。

○原田議長 那須議員。

○那須議員 緊急避難場所と指定避難所っていうふうな分け方をするんですよ。

(発言する者あり)

○那須議員 緊急避難所、緊急と指定とあるんですよ。で、指定避難所になると、将来的に何年も、3年も4年もというのでプレハブを建てたり、そういうところで生活していただきたいというのが指定避難所なんですよ。

で、ここは、さっき言いましたけど、由良半島では数少ない場所ではありますけども、地権者13人おるんですよ。一気にこの4億で買えるわけないし、だから1つずつ地権者を口説いていって、将来的に指定避難所として使えませんかという、その整備はいいですけども、いきなり13軒が、はいそうですよっていうのはないと思うんです。家庭菜園とかいっぱいしてますからね、あそこ。

○原田議長 吉田議員。

○吉田議員 この9、10、11っていうのは、これは大きな本当に問題ではあるんですけども、今回これ出して急にというんじゃないで、やっぱり議会としてこれはやっぱり愛南町すぐ遅れていると思うんですよ。だからここはしなきゃなんないんで、今回12月はちょっと難しいかもしれませんが、議会として、これはやっぱり取り上げるべき問題かなと私は思います。今回ちょっと提案は間に合わないと思いますけども。

全体で本当に避難を考えていかないと、相当遅れていると思います。ここは僕も何回も何回

も、今回またしますけど、言い続けなきゃなんないことだし、やっぱり避難訓練も当然全くできてないし、今の状態では、これはやっぱり近々的にやっぱり議会として、少し促す、促進する必要はあると思うんです。重要な問題ではありますけど、今回、ちょっと金額的にこれは根拠のない数字なんで、場所の問題も含めて。今回はちょっと見送らせるべきじゃないかなと思います。

○原田議長 金額はまたこれは訂正もできますんで。

という、そういう意見ですが、どうでしょうかね。一応、……出します。

山下議員。

○山下議員 これ、11番、事業名のちょっと内容を変えて、家串公民館の移転とか入れるけん、じゃなくて、避難所の早期設置についてというので、それで出したらええんやないの。例えば内海地区ではなく、ほかの地区もあるところはああるので、そうしたら町全体になるんで、その内容にしたらどうですか。

○原田議長 今、山下議員からそういう提案もありましたが、ちょっと事業名を変えてということなんです。

石川議員。

○石川議員 それは賛成です。事業名を変えるの。

それと先ほど言ったグランドデザインに関する議会の関わりというのは、是非議会のほうから一度会議ができるような形で、執行部のほうに求めていただけませんか。

○原田議長 鷹野議員。

○鷹野議員 当然大切なことだと思います。由良半島だけじゃなくて、由良半島じゃなくて久良、西海、やっぱり半島部全体に対する避難所、あるいは避難施設、そういった一時避難所からのできる、そういった施設を充実さすというような内容、そこには金額っていうのはまだ全然発生しないけど、議会として早期考えていただきたいというような提案、それならいいと思います。

○原田議長 金繁議員。

○金繁議員 私も賛成です。先ほど石川議員がおっしゃられたグランドデザインに議会がしっかりと町民の声を届けて関与できるようにしてほしいという要望を出すのが1つ、それから、今、鷹野議員がおっしゃったように、ほかの会館分を入れて考えるようにという要望に変えたらどうか、山下議員もおっしゃられていましたけど、是非そうしてほしいです。

今、私、もう一つ付け加えたいんですけど、施設を建てるのかという話だけになっているんですけど、建てるのに、またこれ時間がかかるので、その前に、これ西海のある方が地区要望で出されたらしいんですけど、建てる前に、テントを、今、避難倉庫の中に入っておるのは、小学校の運動会のとときにやるような屋根だけのやつなんですけど、今もう避難いうたら、難民キャンプみたいな、家族が入れるような、冬も雨もしのげるものがテントとして支給されています。その支給と寝袋の支給を要望、地区要望で出したら断られたと、町から。いうことも聞きました。

ですので、そういうことも併せて、建物だけじゃなくて、緊急をしのげるものを入れていただけたらと付け加えたいと思います。

○原田議長 この11番ですかね、これは是非必要じゃないかという意見なんですけど、この家串公民館というのをのけてということでもいいですかね。先ほど山下議員が言いましたが、これ、事業名は、はい。

(発言する者あり)

○原田議長 予算はこれはね、ちょっとなかなか予算に関しては何とも議会としては、大体の予算ということで、向こうはまた訂正はしてきますので、これは。

吉田議員。

○吉田議員 これ、そうすると事業概要についても変えていくということですかね。おかしくない。

○原田議長 そうなりますね。

○吉田議員 それも当然変えてもらわないと。

○原田議長 はい。じゃ、内容についてはまた変えて、このような感じで提出をします。よろしいですか。

(「はい」と言う者あり)

○原田議長 あと、ないですかね、これは是非必要やというのは。

金繁議員。

○金繁議員 私、13から17まで書いています。犬猫避妊去勢手術に関しては、一般質問でも質問して、現在30万の予算つけていただいています。先月までの予算執行額が、まだ3分の1ぐらいということなので、広報すればもっと希望者増えるとは思いますが。添付資料の一番後ろのほうに、県内の自治体の施行状況を入れています。予算提案資料13という。ほかのまちは、飼い猫についても予算補助をしています。やってないのは、もう愛南町と内子町だけという状況になっています。是非そこも範囲に入れて、来年度、予算若干増やしてカバーしてほしいということです。

というのが、愛南町、犬猫引取りの数は環境衛生課の努力によって劇的に減ったんですけど、飼い主の引取り希望というのが、まだ県内で最も多い自治体の1つなんですね。だからそこを改善するために、野良猫を増やさないようにしてほしいという要望です。

それから、それと関連して、14番は、啓発、やっぱり飼っている人が殺処分を持っていくということがないように、減らすために、動物愛護活動を、松山のセンターも協力してくれるらしいので、そういう活動をしてほしいというのが16万円入れさせてもらいました。

それから、奨学金、16番も一般質問した点なんですけど、町の答弁は、奨学金制度を作ることが、必ずしもいいことではないという答弁だったんですけども、そこから状況もかなり厳しくなっていますよね、コロナとか物価高とか。住民の生活が厳しくなっているようですので、奨学金の希望も実際話を聞くとあります。中学生の段階から高校に行く奨学金欲しいという。ですので、324万円、入れさせてもらいました。

大きいように思うかもしれませんが、これまでずっと愛南町も持っていた医学生、看護生への奨学金制度、これなくしたんですよ、去年。その予算ももう今年取ってません。そういう意味でも、何らかの奨学金制度を維持してほしいという思いで入れました。

17番のシルバー人材センターへの補助は、今100万ぐらいなんですけれども、それにプラス100数十万円してほしいという要望です。

これ、御存じのように高齢者の社会参加を促進して、生きがいを充実するとともに、高齢化社会、愛南町も身の回りのこと、裏の草刈りができなくなったという要望もたくさん増えているそうなんですけど、なかなかもう人手不足で手が回らなくて、要望に応えることができないという状況に陥っているそうです。

なぜかという、以前は草刈り機の貸与をセンターがやっていた。で、草刈りして歯が駄目になった、その歯も今は自己負担なんですよ。時給1,000円でガソリン代が100円という状況で、あとは全て自己負担でやらないといけないということで、シルバーの会員になって草刈りをしてくれるという人材自体が、登録数が伸び悩んでいるということもあって、その上に今度インボイス制度っていうのが発生して、利用者が5%の負担、お金払わないといけなくなるんですよ。

という状況なので、以前は愛南町もこれ270万ぐらいの補助を出していたんですけど、それを110万円ぐらいに減らされているので、戻して、会員数がこれ以上減らないようにしたほうがいいんじゃないでしょうかという提案です。

済みません、長くなりましたが、私の要望意図です。

○原田議長 今、提案者の意見があったんですが、どうでしょうかね。是非これは必要やという

項目があれば。

どうです、この犬猫の問題。確かにこれは深刻な問題になつるとは思うんですが、出しましょうか、どうします。皆さん、どうでしょうか。ちょっと意見を言っていたかかないと。

石川議員。

○石川議員 犬猫の関係は、今でも予算ついていますし、増額ということなのですが、余り必要、提案するまでじゃないんじゃないかなと思います。

16番は、私はこれは奨学金制度がなくなって、医学生への奨学金がどこに、なぜなくなったのかがよく分からないんですけども。この奨学金制度というのは、私はいんじゃないかなと思いますけど。

○原田議長 鷹野議員。

○鷹野議員 ただこの奨学金に関しては、理事者側の答弁では、各学校、短大、その辺の奨学金を利用するという方向で町は考えていないというような答弁もあったというふうに思います。

○原田議長 ほかに御意見ありませんか。

じゃ、どうしますかね。議会として提案しましょうか。

吉田議員。

○吉田議員 済みません、議会として出すのは、別にこれは、別に皆さんの意見でオーケーであればいいんでしょうけれども、余りにも対象が高校生6人、それから専門・大学が3名ということで、もうちょっとしっかりと……私はちょっと判断しかねるんですけども。出すんだつたら出すで、やっぱりもうちょっと根拠を含めて、より多くの方に奨学金を使っていただくというふうなことで検討すべき課題ではないかなと思うんです。

○原田議長 金繁議員。

○金繁議員 はい、ありがとうございます。補足させていただきます。

この高校生、月2万円、6人というのは、今現在、南宇和高校で私的な奨学金を出されている方がいて、大体毎年2~3人の要望、そして3年間でこのぐらいの人数になっています。その出されている方も高齢化されていて、今後出せない状況にもなっているんで、近々にこの高校生については、これぐらいということを出しています。

大学、短大、専門学校、月5万円掛ける3人というのは、内子町とか松前町とか砥部町、どこでも町の独自の奨学金を持っているんですけども、大体月5万円、もっと多い内子町は7万円の奨学金もありますけど、大体5万円で、5人、10人出しているまちもあるんですけども、少な目にこれは出しています。

以上です。

○原田議長 今、補足説明がありました。どうしましょうかね、これ。特に。

那須議員。

○那須議員 奨学金がもう取りっ放しのことですかね。返すんですかね。

○原田議長 金繁議員。

○金繁議員 ほかのまちも調べてみましたけれども、無利子で貸与というところが多いですよ。そこは理事者の判断、ほかの財政的なこともあると思うので、判断されたらいいと思います。ただ、現在支給されている高校生、月2万円というのは、貸与ではなく、もう差し上げると、支給という形だそうです。

○原田議長 山下議員。

○山下議員 これ、くにひろ育英会というのがあった。それが高校生が1万円やなかったかと思うんやが。大学生が3万円という記憶なんですけど、それはやっぱりもしこの制度をするんやったら、くにひろと金額を合わすべきじゃないの。金額的に。やっぱりこの提案は、私はいいいと思います。貸与よね、これは。

○原田議長 金繁議員。

○金繁議員 ありがとうございます。そうなんですよね。

くにひろとは別に、私的に施設の奨学金を出されている方がいて、その方が月2万でされています。くにひろにももちろん合わせてもいいと思います。そこは、できれば行政の方が聞き取り、中学の校長先生とかにして、どの辺が妥当なのかと、現場の声を聞くのが一番、で設定されるのが一番いいと思います。これはあくまで目安として出させていただいています。

○原田議長 予算については、出すのはいいんじゃないかと思います。向こうがもう何て言うか、それは回答があると思うんで。

どうでしょうかね、これは。出しましょうか。

(「はい」と言う者あり)

○原田議長 16番は出すとして、13番の犬猫の問題、これ、どうでしょうか。出しましょうか。

(発言する者あり)

○原田議長 要らん。

吉田議員。

○吉田議長 今、金繁議員からの、今回、今年度予算が3分の1しか使用されてないとか、余り使用率が低いということは、そんなに需要があるわけではないんじゃないですかね。そこで増額する必要はまだないんじゃないかなと思います。

○原田議長 金繁議員。

○金繁議員 確かにそうなんですけれども、このポイントは、資料につけさせていただいているように、対象を飼い主のいる猫犬に拡張することによって、今、県内で一番飼い主からの引取り数が多い愛南町の汚名を返上したいという意図です。

これ50万でなくても40万でもいいんですが、広報活動することによって、まだ町民の方、知らない方多いので、補助出ますよということを広報していただきたいというのがもう一つあります。

○原田議長 これ、飼い猫も対象ということになつとるんですが、どうですかね、これ。予算的に。

石川議員。

○石川議員 これ、一般質問で取り上げたらいいんじゃないかなと。一般質問することによって、広報活動にもなるというふうに私は思います。

○原田議長 どうですか、金繁議員。

金繁議員。

○金繁議員 一般質問に入れる機会がなかなかないんですよ。予算の中で補正予算とかのときに発言してもいいですけど、でも、3月はもう次の年度の予算になってしまうので、12月の補正予算の中で言うとしたら、関連質問になってしまいますよね。

(発言する者あり)

○原田議長 入れる余裕がないということですか。

(発言する者あり)

○原田議長 金繁議員。

○金繁議員 実はこれ、女性、特に女性なんですけど、もう猫がかわいそうで、野良猫を増やしたらいかん、迷惑もかけるということで、自腹で地域、地域でもう10匹、20匹、何十万かけてやっている方もいらっしゃるんですよ。それは野良猫ですけども、飼い猫に対しても、やっぱり避妊、去勢しない方たちもいらっしゃるんで、それをきちんとやりましょうという制度を作って、野良猫を増やさないようにという大きな目的です。

それと、これ飼っている人からの殺処分が多いということは、結局、これ、子どもたちへの教育にもつながるんですよ。その汚名を返上する意味でも、大事なことだと思います。なかなか男性には分かってもらえないんですけど。

- 原田議長 吉田議員。
- 吉田議員 議長、済みません、これ猫だけですか、犬は、じゃどういう状況ですか。それも教えていただけますか。
- 原田議長 金繁議員。
- 金繁議員 いい御質問、ありがとうございます。犬は大分減っているんですよ。ほとんどいません。今、数字出してませんが、資料はあります。
- 原田議長 どうでしょうか。これは、皆さん、多数決でやります。もう最後はこれなかなか決まらないので。
出したらいいと思われる人は挙手をお願いします。
(賛成者 挙手)
- 原田議長 賛成少数ですので、今回ちょっとこれは見合わせてもらいたいと思います。
続いて、あと17、18ですかね。16番は、これは出すのでいいですか、16番。
(「はい」と言う者あり)
- 原田議長 はい。
じゃ、17、シルバー人材センター、これはもうよろしいですか、出さなくても。
山下議員。
- 山下議員 シルバー人材は、シルバー人材が予算が足らなくなったら、必ず毎年行きよるんで、要望に。それを再度行ってもらたら。それを言いよると、交通安全協会とか、それも全部関係してくるんで、全部安全協会も安全協会でも個人的に行きよるんで、これは省くべきです。
- 原田議長 金繁議員。
- 金繁議員 私の山下議員に賛成です。
実は、シルバー人材センター、要望に行ったそうです。副町長のほうから、駄目ですと断られたということで、私が議員として聞き取りをしました。資料も全部見せてもらいました。インボイス制度のこれからこういうふうになるということも、県の書類も見せてもらって、ああ、これは大変なことになるなど。シルバー人材の持つ社会性、公的な意義、ここに書いてあるようなことも含め、議会として提出したらどうかなと思って入れさせてもらいました。
- 原田議長 これまた一般質問でも考えてもろたらと思います。余裕がないんですか、入れる余裕は、一般質問。いやいや。
吉田議員。
- 吉田議員 金繁議員は、今、山下議員の意見に賛成ということで、それでいいんじゃないでしょうか。
- 原田議長 金繁議員。
- 金繁議員 私が賛成といったポイントは、団体が直接町に言ったらいいんじゃないかと、私もそう思いますという点について賛成しました。でも、それでも駄目だったと。駄目だったことに対して、私は議員として、その町の判断が正しいのかどうかということを見て調査しました。その結果、これは議会として取り上げるべきだと私個人は思ったので、この場に載せさせていただいたということです。
- 原田議長 どうしようかね、これ、もうさっき多数決で、ね、多数決しましょうか。
じゃ、これ提出したらいいと思われる方、挙手。
(賛成者 挙手)
- 原田議長 これもちょっと少数ですので、今後一般質問等で考えてください。
続いて18番、給与予算について。どうでしょうか。
これ、補足説明ありますか。提出者。
山下議員。
- 山下議員 ちょっと内容的に、予算って書いたんですが、給与の査定の在り方というか、今の。

同じ課に課長補佐が4人も5人もいたりとか、それ、この前、どうも理事者の説明は、給料を上げるためとか何か、そういう説明なんで。それは本来ちょっとおかしい制度なんで、その制度の変更という意味なんで、これ。給与予算についてというか、ちょっとこれ事業名の内容が悪かったんで。

○原田議長 吉田議員。

○吉田議員 山下議員の言っていること、よく分かっていて、これ一般質問でもされたと思います。これは主事、補佐という名称が異常に多過ぎるだけで、これは主幹であったり名前を変更するという、その程度の形で私はいんじゃないかなと。それはすべきだと思うんですけども。補佐になる前に主幹なのかな、そういう役職をきちっと制度化していくということが重要なことだと思います。

○原田議長 鷹野議員。

○鷹野議員 私も今吉田議員と同じで、一昔は専門員とかそういう、課長補佐の前にあったように、やっぱりちょっと段階を変える、制度いうか職名というか、その辺の見直しはすべきやないかなと。それがまた1つの給料体制に関わってくるということやと思います。

○原田議長 で、どうなんですか。賛成なんですか。

○鷹野議員 全体の底上げをもちろん、県下では最低レベルの愛南町なんですけど、そうやって、給与の見直し、そこらを含めてすべきだということですよ。

○原田議長 那須議員。

○那須議員 提案者にお聞きをしますが、予算は発生するの、これ。

○山下議長 これは予算は発生しません。

○那須議員 せんよね。

○山下議長 先ほど言ったように、給与予算ということの内容がちょっと悪かったんで、いうたら、今ちょっと職階制度の改正とか、そしてまた給与、職階制度の改正というちょっと事業名に。
(発言する者あり)

○原田議長 ちょっと挙手して。

那須議員。

○那須議員 ですから、事業概要の中での最後の文は、もう消さんとおかしいんですよ。

○山下議長 はい、そうです。

○原田議長 ということで、どうでしょうかね。予算が発生しないということで、ちょっとこれはどうかと。

山下議員。

○山下議長 制度の改正なんで。結局、理事者が受け入れるか入れんかは理事者サイドなんで。そういうことです。

○原田議長 これ、事務局、予算が発生しないというのはどうですかね、これ提案としては。
本多事務局長。

○本多事務局長 この制度については、あくまでも予算提案なので、どうでしょう、そのあたりは。

○原田議長 ということで、予算が発生しないということですので、また、一般質問等で構いませんか。

(「はい」と言う者あり)

○原田議長 以上で、18番まで終了したんですが、これでよろしいですかね。何かちょっとなかなかまとまらないんです。

本多事務局長。

○本多事務局長 今、2件の予算提案がまとまったかと思うんですけども、まず、11番の関係なんですけど、これ、内容変更ということで、ちょっと今整理をさせてもらったんですけども、例えば事業名を、地震津波災害における指定避難所の設置等についてという形に変えさせてい

ただいてよろしいでしょうか。

(「はい」と言う者あり)

○本多事務局長　そして要求額については、具体的には入れずに、事業概要についてなんですけれども、いわゆる半島部における指定避難所の設置及び津波緊急避難場所における家族用テントの支給等についてということによろしいでしょうか。

○原田議長　石川議員。

○石川議員　半島部やなくて、海岸部のほうがいいんじゃないですか。半島部といたら、由良半島だけになってしまうので、先ほどの議論の中では、西海も含めてということなんで、海岸部ということで修正されたほうがいいんじゃないでしょうか。

○原田議長　中野議員。

○中野議員　これ、半島とか海岸部とかじゃなくて、どこが被害を受けるか分からなくて、地震で受けたりとかしたりで、どこの人が何か避難したらいいかみたいで、もうどこの半島とか海岸部とかいうのは要らんのやないですか。被害受けたところがそうなんで、それはもう具体的には必要ないんじゃないですかね。出すのであれば。

○原田議長　金繁議員。

○金繁議員　海岸部にするというのも賛成ですし、今、中野議員がおっしゃられたように、海岸部に限定する必要もないかなというのも、私も思います。というのは、これグランドデザインということになると、じゃ、全体の避難所をどうするか、拠点をどうするかという話も入ってくると思うんで、例えば一本松に避難拠点を作るとか、船越の拠点をどうするかっていうことにもなってくるので、海岸部の避難場所っていうのはもちろん要るんですけど、それだけに限る必要はないのかなと思います。

○原田議長　鷹野議員。

○鷹野議員　ですけど、今一時避難場所しかないところが半島部（海岸部）ということで、やはりそれは絶対必要やと思いますよ。普通のまちに近いところは、避難所も避難施設もあるわけであって、問題なのは、そういった海岸部、半島部において、一時避難場所しかない地域ですよ。ですから、それが海岸部（沿岸部）というふうになるんで、そこは入れるべきやと思いますよ。

○原田議長　石川議員。

○石川議員　今の鷹野議員の意見に賛成です。半島部（海岸部）と書いていただければ、緊急性が一番高いのは半島部なのはもう間違いないんで。

○原田議長　という意見ですが、そのようにしてよろしいですか。

○原田議長　山下議員。

○山下議員　それやったら、未整備地域という言葉やろう。未整備地域に対するで、それでもう全て入ると思うんで。半島部とか海岸部じゃなくて、未整備地域。

○原田議長　鷹野議員。

○鷹野議員　ただ未整備地域というたら、もう半島部、沿岸部が残っている。

(発言する者あり)

○鷹野議員　避難施設のこと言うているんですか。避難所のことを言っているんですか。指定避難所のことを言っているんですか。

(発言する者あり)

○鷹野議員　うん、指定避難所ですよ。指定避難所、町中いうか、ないところが沿岸部、半島部になりますよ。

○原田議長　海岸部はこれ大体ないんですかね。私ちょっと。

(発言する者あり)

○原田議長　ああ、そうですか。

(発言する者あり)

○原田議長 ということ、じゃ、あれですか。海岸部と半島部でいいですか、それで。いいですか、それじゃ、最終的にその事業名、それでよろしいですか。いいですかね。

(発言する者あり)

○原田議長 どうですか、石川議員、それでいいですか。未整備地域。

石川議員。

○石川議員 余り受けたほうが分かりにくいんじゃないかなとは思うんですよ。それやったら、やっぱり半島部(海岸部)にしたほうが、皆さんが分かるんじゃないかなと、その受けた人がですよ。

○原田議長 そういうことです。いいですか。

鷹野議員。

○鷹野議員 そしたら、未整備地域(半島部、海岸部)でいいと思います。

○原田議長 半島部、海岸部でいいような気もせんでもないですが。どうですか。

(「はい」と言う者あり)

○原田議長 いいですかね。じゃ、そういうことに決定します。半島部と海岸部。

ということ、あと、事務局、あと。11番、……のあった分。あと何番やったかな、16かね。いやいや、あと、その2つやね。

じゃ、一応2件ということ、提出します。これやったり、さつき金繁議員も言うたように、もうちょっと早い段階でこういった協議は、ああ、山下議員が言うたのかな。もっと早い段階で、これ本当に重要なことなんで、協議をして、皆さんから意見をいただきたいと思います。次からはですね。

じゃ、もうこれで終わりかな。

その他は何かありませんかね、事務局。

本多事務局長。

○本多事務局長 議会報告会の報告書の関係なんですけれども、今現在、意見に対する協議はしていただいているんですけれども、それ以外で、今度の12月議会で報告する意見書案を作成しております。これにつきましても、22日以降に皆さんのタブレットのほうに掲示しますので、内容の確認のほうをお願いしたいと思っております。

あと先般の北海道の行政視察の関係なんですけれども、追加費用が発生しております。あと後ほどこれについての明細をお渡ししますけれども、お一人662円の支払いのほうを、今度の11月22日の全協までをお願いしたいと思っております。

あと先ほど話題になりました議会報告会の意見書と、行政視察の書いていただく様式なんですけれども、それについては、議員全員にPCのアドレスを登録していただいている方については、全て配信をさせていただきます。また、紙ベースのものもまた後ほどお配りしますので、作成方、よろしく願いいたします。

以上です。

○原田議長 ほかに。

少林議員。

○少林議員 先ほどちらっと言ったんですが、議会報告会の際の講師の先生に対する付箋の質問に対する答えをどうするかという点に対して、議長さん、明快にお願いします。

○原田議長 大体もう答えは出しているみたいなんで、だったと思います。ですよ、事務局、どうやったかな。

本多事務局長。

○本多事務局長 土山先生に対する御意見については、その当日、土山先生が時間の範囲内で誠実に回答していただいておりますので、もうそれで十分ではないかというふうに考えております。

以上です。

○原田議長 大体回答は済んでいるそうです。
ほかにありませんかね。

(「なし」と言う者あり)

○原田議長 ないようでしたら、これで議員全員協議会を終了いたします。
大変お疲れさまでした。

議長